

CREATE HOPE in the WORLD



Rotary

第2780地区

大磯ロータリークラブ



世界に希望を生み出そう

2023～2024年度RI会長

ゴードン R. マッキナリー

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県平塚市豊原町22-13 TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：第1・第3・第5 木曜日 12:30～13:30 大磯プリンスホテル TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281

会長 瀬戸 亨一

会長エレクト 田中 敏治

幹事 新宅 文雄

第2574回 例会

令和5年8月31日 No.5

■司会：鈴木 美乃

■点鐘：瀬戸 亨一

■合唱：それこそロータリー

◇プログラム・9月7日：休会 ・9月14日：ゲストスピーカー、理事会 ・9月14日：休会

◇出席報告

例会	会員数	出席数	出席率	メイクアップ	修正出席率
2574回	15(14)	10	71.43%	—	—
2572回	15(14)	10	71.43%	—	—

◇欠席者（4名）

原、太田、石山、井上さん

◇メイクアップ（0名）



ロータリーソング

◇点鐘：瀬戸亨一会長

今日は、トリプル台風が発生しており、またこの後も台風がまた発生するでしょうし、また被害がなければいいなと思っています。今朝起きた時に窓を開けたら、室内よりも外が若干涼しいなあって感じたわけです。8月中ずっとと言えなかったんですけど、これから秋になってくるのかなっていうのを感じたところです。それでも昼間になるとすごく熱く

なって熱中症の対策等しっかりして頂きたいと思います。河本さん、今日は急遽でしたけれども、卓の方どうぞよろしくお祈いします。楽しみにしています。それでは点鐘します。

◇鈴木美乃SAA

本日はゲストはいらっしゃいません。ビジターもいらっしゃいません。結婚記念日のお祝いもございません。誕生日祝い鈴木美乃さん(^o^)。

◇おめでとうございます！



誕生日祝：鈴木美乃さん（9／1）



お祝いを頂きまして有り難うございます。今日ですね、久しぶりに。体重計に。そしたら、

おかしいなあって思い続けながら一年ぐらい乗ってなかったんですけど、去年このお祝いを頂いた時から、なんと7キロ戻ってました。それで、もう本当にここに数字がこう出るような思い出は、やっぱりきつきつuitとと思ってたけど、そうだったんだと、凄く反省して、今日から頑張りたい、また元のように戻りたいと思います。

＝ハッピーバースデーソング斉唱＝

◇出席報告

布川史明委員



◇会長報告

瀬戸亨一会長



会長・幹事会を先日行いました。ポリオ・デーのチャリティーコンサートが10月25日に有ります。コンサートのチケット購入を、一人ずつ皆さん購入して

下さいというお願いがありました。資料等届いた時には購入の方考えて下さい。

それから8月20日に成田へダビッド君を迎えに行きました。後ほど詳しく田中さんの方から報告があると思います。とにかく翌日から田中さんにはもう一日がかり。2日がかりなのか3日がかりなのかというぐらい、保険の手続きだ、自転車の事だとか、健康保険などでずっとやって頂きまして、本当に時間使って頂き、大変ご尽力いただきまして、有り難うございます。

それから「ぷちおおいそ」が10月29日にあり、2780地区の他の留学生をダビッド君と一緒に参加させる事で留学生間の交流が出来、また地元の小学生と交流ができて大変良い企画だなと思っていたんですが、「ぷちおおいそ」の主な目的が小学生の職業体験ということで、現時点で留学生と小学生との関わり方について、まだ詳細が出来てないという事と、時間的にも厳しいという事で、今回は見送りをさせて頂きました。只、ダヴィット君は丸山さんに引率して頂いて、職業体験のボランティアということで参加して頂きますので、ロータリーの会員の皆さんにダヴィット君の様子を見にきて頂ければと思います。場所はここのプリンスでやっておりますので、お願い致します。

昨日の夜にロータリーの友の代表者さんから私宛に手紙が届きまして、購読率が低いので、皆さんにクラブ会長からロータリーの友を読んで頂くように、との手紙が来ました。今日の資料にも入ってますけれども、この手紙をきっかけに、私もちゃんと読んでいきたいなと思っています。皆さんもぜひ読んでみて下さい。

それから、ここに大磯町の業者リストっていうのを私プリントして来ました。吉川さん、会員増強の委員長ということで、後でこれをお渡ししたいと思うんですけども。1100ぐらいの業者が大磯町に登録されていて、会社名が書いてあります。当然見ると、あそこの会社、この会社と色々あるんですけど、いずれ会員増強の話も進めて貰いたいなと思って一応プリントアウトしただけなんですけど、お渡ししたいと思いますので貰って下さい。

「会長のひと言コーナー」＝関東大震災!!＝

会長報告は以上なんですけれども、新宅さんの一言コーナーに対抗しまして、私も一言ちょっとやらせて頂きます。

関東大震災が起こったのが百年前という事で、明日のお昼に起きる事になります。百年後っていうのが明日のお昼です。根府川では汽車が海に転落して

230人。静岡から千葉の海岸沿いでは津波で多数の死者。東京中心部では火災で6万6千人が死亡。焰が竜巻となる火災旋風と言うのが襲って、3万8千人が亡くなったそうです。犠牲者は合計10万人だったという事です。百年前の事なので。全然わからないんですけど、こんなに凄い災害だったんだと思います。ハワイの火災も突風が更に被害を拡大した映像を見たばかりですけれども、火災は本当に恐ろしいものだと思います。

私が小学生の時に自転車で旅に行った**秦野の震生湖、関東大震災で出来た湖**です。百年前に出来たんだなって改めて思いました。海から近いからとは関係ないところで、やっぱりこんなに大きな湖ができるぐらい。災害は大きいなと思いますし。皆さんも大磯に住んでいて災害が少なく、温暖で過ごしやすいなと思ってられると思います。関東大震災から百年ということで、同じ規模の地震が近くで、近くの活断層でもし発生したら？なんて事は言いませんけれども、災害は直後よりもその後のほうが生活が大変だと思います。防災の準備をしっかりして頂いておきたいと思います。

最後にですけど、家族近隣身内の安全の確認後、ロータリークラブのメンバーがいる事をお忘れなく。もしも有事の事があったら、声かけ合って助け合ってみたいなと思ってますので、何かあれば協力しましょう。以上

◇幹事報告

新宅文雄幹事



ひと言コーナー：

最初に、平塚クラブの方からメールを頂いたんです。えっと思ったんですけども、**水道水をそのまま飲める国は世界で幾つありますか？**八つしか無いんだそうですね。そのまま飲める国は殆どない。水道水をそのまま飲める国はアイスランド、ノールウェイ、フィンランド、デンマーク、オーストリア、ド

イツ、アイルランド、日本です。

<母がくれた泥だらけの千円札>

俺だって本当は高校に行きたかったけど、そんな余裕がある家庭じゃないからね。じゃあ、何も持たない自分が這い上がるにはどうすればいいか。体一つで戦えるボクシングしかないと思った。

とりあえず近所の人で紹介で東京の会社に就職しました。入社してすぐ、会社のみんで元フライ級バンタム級で世界チャンピオンのファイティング原田さんの試合中継を見ていた。その時、俺は社長さんに「俺もボクサーになりたいから、ボクシングジムに通わせて下さい」と申し出た。

すると社長さんは、「おまえみたいな人間が、あんな偉い人間になれる訳がない」と言ったね。

まだ十五だよ。ショックだったね。ああ、東京も田舎も一緒だ。俺みたいなやつにチャンスはないんだ、と思って、すぐに会社を辞めて田舎に戻った。

村の人たちに見つかる「あそこの息子、もう仕事を辞めて帰ってきた」と噂されるから、真夜中にひっそりと帰って、昼間、誰にも見られないようにふるさとを歩いたんだ。

山、川、田んぼ、畑……。ふるさとの自然に抱かれているうち、「よし、俺はやっぱり東京へ行く」という思いが湧いてきた。

もう一回上京する日、おふくろはいつも通り朝早くに土方仕事へ出て行った。帰ってきた数日間も、忙しくてろくに話もできなかったから、駅に向かう途中の仕事場に立ち寄ってみたんだね。「もう一回東京へ行ってくるぞ」と言うと、おふくろは泥だらけの手で前掛けのポケットをごそごそやって、一枚の千円札をくれたんだ。俺がいつも悪さばかりしていたから、「サツ（札）はサツでも、警察のサツは使えねえぞ」と言ってね。そして、ハラハラと涙をこぼしたかと思うと、「偉い人間になんかならなくていい。立派な人間になれ」と言った。うちのおふくろさんは学歴はないけど、やっぱり苦勞を重ねて生きてきた人だから言葉に力があつたよね。ずっと心に沁みて、それは今も忘れない。

結局、その時もらった泥のついた千円札はずっと使えなくて、いまでも大切に持っていますよ。

元WBC世界ライト級チャンピオン **ガッツ石松**の少年時代のお話です。

＜幹事報告＞

＃、地区からの報告

・青少年交換 来日学生オリエンテーションとホストクラブ説明会が開催されます。

日時：2023年9月2日 13：30～17：00

(16：00より歓迎会) 17：00 終了

場所：第一相澤ビル8階「会議室」

出席者：ダヴィット来日学生、田中カウンセラー、丸山ホストファミリー

・RI日本事務局 財団室NEWS 9月号回覧しますが、財団への寄付総額ランキング 2023・6・22現在の世界上位5ヶ国は：米国1860万ドル、韓国231万ドル、インド219万ドル、台湾167万ドル、日本151万ドルです。

・ポリオプラス・ソサエティのご案内

このプログラムは毎年100ドルをロータリー財団の「ポリオプラス」への寄付をお約束頂けるロータリー会員に登録していただき、登録証とソサエティメンバーのピンバッチを受け取っていただくものです。

・秋の「第21回ロータリー全国囲碁大会」のご案内がRI認証ロータリー囲碁同好会の日本支部幹事 太田清文（東京RC）さん＝我が会員の太田知加子さんの弟さん＝から参っております

10月21日（土）10時開会 16時表彰式と記念撮影
市ヶ谷の日本棋院1階対局室

＃、当クラブからの報告

・ダヴィット君8月20日（日）来日 成田空港お迎え 瀬戸会長、田中カウンセラー、ホストファミリー丸山さん家族他大勢、ご苦勞様でした。

・小諸RC60周年事業に参加者は6人。

(河本、瀬戸、田中、越地、井上、新宅)

・秋田豪雨災害支援寄付1000円以上の件はスマイルBOXから15名分拠出。

・平塚北RC高橋好文さん、8月18日死去連絡あり。

・湘南7RC親睦ゴルフ会のご案内がきております。

日時：11月24日（金）

場所：平塚富士見カントリークラブ

・本日の配布物：

・ロータリーの友9月号

・会報2571回、会報2572回

・ガバナー月信N02

ガバナー月信・前年度分N013最終号

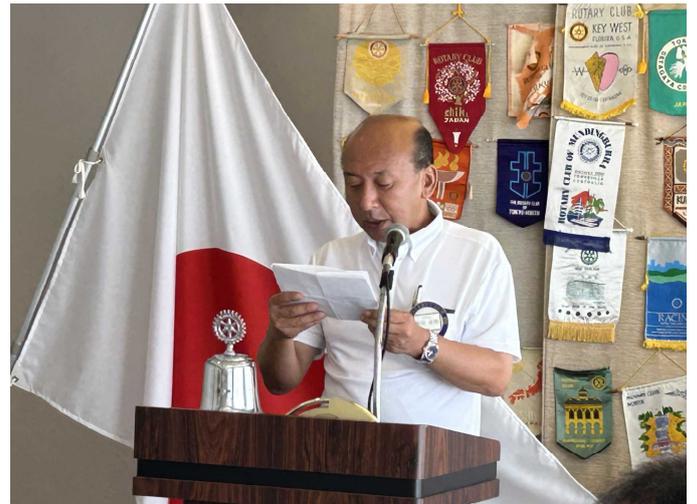
9月行事予定表

＃、9月は14日（第2）、28日（第4）が例会日です。お間違いのない様にお願いします。

◇委員会報告：

☆スマイルボックス

布川史明委員



・瀬戸亨一会長：鈴木美乃さんお誕生日おめでとうございます。河本さん卓話楽しみにしています。よろしくお祈いします。事務局手塚さん今日は快気祝いですね！

・新宅文雄幹事：昨今の感じに似ていました。

秋来ぬと 目にはさやかに 見えねども
風の音にぞ おどろかれぬる

河本さん卓話よろしくお祈いします。鈴木美乃さんお誕生日おめでとうございます。

・河本親秀さん：鈴木美乃さんお誕生日おめでとうございます。今日は私の拙い卓話でお耳を汚しますが、よろしくお祈いします。

・守屋紀忠さん：鈴木さん誕生日おめでとうございます。河本さん卓話よろしくお祈いします。

・田中敏治さん：こんにちは、河本さん卓話楽しみです。宜しくお祈いします。鈴木さんお誕生日おめでとうございます。また20日より交換学生ダヴィットさんが来日して、ホストファミリーの丸山さんのお家から生活をスタートしています。例会にも出席すると思いますが、あたたかくむかえてあげてください。

・鈴木美乃さん：河本さん卓話楽しみにしております。本日はお誕生日のお祝いをありがとうございます。

・吉川稔さん：鈴木さんお誕生日おめでとうございます。河本さん卓話楽しみにしております。

・布川史明さん：よしのさんお誕生日おめでとうございます！河本さん卓話楽しみにしております。よろしくお祈いいたします。

☆田中敏治管理運営委員長・青少年奉仕委員長



先程会長からお話しがあったように、20日からの交換留学生のダビッドさんが来日しました。瀬戸会長がその写真、皆さんにお配りしてくれたと思うんですけど、イメージ的にはこんな感じで、4ファミリーが出席して頂いて、あとロータリー関係者ですと林ガバナー補佐、ローテックスの金子さんが参加。すごく和やかで、一時間位待ったんですかね？手続きが遅れたと思うんですけど、4名出て来たんですけど、神奈川、埼玉、福岡、長野への派遣学生で男子は彼だけだったんです。日本語力がすごくて。皆んなびっくりしちゃって！、他の子たちはそんなでもなかったんですけど、凄くコミュニケーション力っていうか、ホストファミリー方とか、私たちの言ってる事も彼は理解して意思疎通が意外と出来たので、その辺は凄くよかったっていう感じと、あと皆さん驚いて凄く興味を示して、いろいろな形で声をかけてくれてたんで、これからスタートするのには良いのかなっていう感じで一安心しました。20日はそのような形で丸山さんのところにお届けして、23日に学校説明会、これまたホストファミリーの方々4名、4家族の方々が出て頂いていて、いろいろ先生の話聞いてきました。28日から学校の方に自転車で登校しています。その他、保険だとか、そういう事もすべて事務局が最初に入っていたんで、滞りなくやっているといます。制服なども全部揃ったんで、いいスタートなのかなと思っています。あと例会にもひと月に一回出してもらいたいなと思ってますので、来月の14日が初めてになると思います。言葉をすごく勉強して来ているんで、問題はないと思うんですけど、16歳なんで、また色々初めての事がいっぱいあると思うので、たぶん迷ったりする事があるので、一つ暖かくクラブで、皆さんで応援していけたらなと思います。以上、ご報告です。



☆鈴木美乃さん：



私がこの間、小諸RCにお邪魔した時の話ですが。とても温かく迎えて頂いて、10月1日に6名お邪魔する事を話しして来ました。小諸の会議に出席して、ちょっと面白いなと思ったのは、ニコニコボックスは委員会を読み上げるのではなくて、一人一人前に出て話すっていうのはちょっと面白いなと。その都度、話して入れるっていう感じで紙には書かない。ただ、お金を入れる話をしているっていう感じです。それがちょっと変わってるなと思ったのと、広報担当者がいらして、その時のロータリーの友から選んだ話だとかを皆さんに紹介して、このロータリーの友をすごく活用してるんだなって思いました。

そうキャッスルホテルに泊まれるんですか？あ、違いますか。キャッスルホテルの食事はカレーライスでした(^o^)

ちょっと雰囲気が違うんだな一って思ったのは、会長さん、SAA、副会長さん達が前にずらっと一列に並んで、他の会員がこっちの丸テーブルに来る。人数も多いからか、何か違う感じがした。人数が多いからだと思うんですけど、毎例会、席を決めるため

に出席者がプレートを引くんですよ。そうすると何番って書いてあって、そこに座るっていう、みんながいろいろ混ざるように工夫されてるなと思いました。（拍手）



☆越地貞裕 米山記念奨学会委員：



8月20日の米山奨学委員会セミナーの報告：最近、記憶力がすごく乏しくなってます…、3時間にわたっての会議の前半、米山奨学会についての、講演とか話がありまして、後半はカウンセラーの研修会という事で、前半の方がメインだったのかなと思います。その中で米山親善大使って事で、陳さんという方がお話しして頂まして、結構この方も本当に、かなり苦労されて、何とか自分の手で奨学金を掴んで行ったような方でしたね。今こちら日本の会社で働かれていて、自分の経験を他の者にいろいろ広げていってるという話を聞いてきました。

◇卓話

◆◆私の体験史・幸運の後半生◆◆

河本親秀さん



今年の5月25日の第2567回例会で、私の戦時中の体験で空襲で家を焼かれて死にかけての経験とか、目の前で見た地獄等、皆さんにとって愉快でない話をお聞き頂きました。今日は私の幸運の後半生、終戦以降、非常に幸運であったなと思っているので、その話をさせて頂きたいと思います。

終戦直後の惨状と言いますか、私が毎日学校に通う時に、近鉄線鶴橋駅のガード下で凍死した人、餓死した人を毎日のように見ていました。そういった惨状は8月のテレビ放送でずいぶん報道されているので、その辺りの事は全部飛ばします。

大磯に本社工場を建設したジョンソン（株）の前身でありますケントク（株）に入社した時からの話をさせて頂きたいと思います。

ケントクは1962年にアメリカのジョンソンと合併したのですが、私はケントクからジョンソンに引き続き勤務していました。

私はあの第2次世界大戦が終わった時、中学4年生でした。終戦まで3年生から勤労働員で何も勉強できなかったんですが、5年生で卒業するまでの1年半ぐらい、お腹が減っているのを忘れるために勉強に集中しました。自分として一番好きだった教科が物理化学でした。特に弱電・鉱石ラジオ通信の実験・体験に魅せられ、弱電技術者さんになりたくて、伝手をたどって双葉電気（株）というラジオメーカーに入ったんです。双葉電気は当時ラジオの5大メーカーの一つだったのですが、私が入って1年後くらいから不景気になって、給料の遅配、欠配が続くようになりました。2年間いたんですが、入社した昭和22年に新しい学制が制定されました。6・3・3・4学制です。前は小学校6年生までが義務教育で、そ

れ以上は希望する者が修学する事になっていました。新学制が発表され、私は何としても大学に行きたかったものですから、**昭和23年4月夜間の高校の4年生に入学**（夜間高校は4年制です）し、翌年卒業して、大阪大学の工学部を受験、合格したんですが、家計が苦しくて、残念ながら入学金は払ったんですけど、自主退学しました。昭和24年高校卒業後、双葉電気を退職し、職業安定所の紹介で大阪証券取引所に就職できました。終戦後からGHQの規制により、株式取引は店頭取引に限定されていました。それを昭和24年（1949年）4月から証券取引所を再開して、株式現物取引が出来る事になり、新規取引所職員が必要になり、運良く入所できました。ところが、それから2年ちょっと経った1951年/昭和26年6月25日に朝鮮戦争が始まって、空前の好景気が訪れ、株式売買が急増しました。当時は今のようなコンピューターやパソコンとかは無い時代で、全部職員が算盤そろばんで計算していました。ものすごい量の取引があり、職員は全員泊まり込み、翌日の株式の受け渡しに間に合うように、必死になって、徹夜で算盤で計算していました。その為、私が2浪して、その年1951年4月に合格した大阪市大の商学部二部（夜間）に全く出席出来なくなりました。＝弱電の技術やさんになりたかったのが、母親から、お前は技術屋さんには向いてない。ビジネスマンになりなさいと言われました。何故母親がそう言うのかなと思いましたが、私の本質を知る母親だからそう言うのだろうと思ひ、それから2浪して、高い競争率でしたが、運良く大阪市大の商学部第二部に入りました。大阪市大は昔は大阪商大と言っていました。当時、一橋大学、神戸商大、大阪商大が日本3商大と称されていました＝入学は出来たんですけど、この朝鮮戦争の勃発で大学へ行けなくなった。それを見た親父が何とか私の大学卒業を果たさせてやりたいと考えてくれました。親父はその時に、後日ジョンソンと合併するケントクに、すでに昭和21年の7月に鈴木社長にワックス製造の技術を見込まれ請われて、工場長として入社していました。親父は私が大学へ行けるように社長と話をつけてくれて、工場長のアシスタントとして時間を短縮して働いて、学校に行けるようにしてくれました。そのお陰で、4年間、すごく楽に学校に行けるようになりました。

大学三年生の時ですが、当時学生運動が盛んで、すごく過激な学生運動が多かったんですけども、我々夜間の大学は、そうじゃなくて、この苦しい学生生活をもっと楽しくしよう、何とかしようじゃないかと学生集会を開きました。そこで出てきた結論

がクラブ活動を始めようじゃないかと言う事でした。夜間夜間大学だったのでクラブ活動はなかったのですが、同好会的なクラブ活動を始めようと決議しました。その時に出来たのが「うつぼコーラス」でした。学校の校舎が鞆町うつぼにあったので、「うつぼコーラス」としたんです。たまたま、コーラスメンバーに歌唱力があり、作詞・作曲も指揮もやれる男がいて、彼を中心にして歌い始めました。我々学生だけじゃなくて、夜間の学校に来ているメンバーなので、自分の職場にいる歌好きの仲間を呼んできて、15～16人のコーラス部になりました。その時、コーラス運営のリーダーになってくれたのが共産党員だったのですが、楽譜を読めないが歌う事が好きなメンバーも楽しく歌おう「メンタルハーモニー・コーラス」にしようと言っていた、皆から親しまれ、人望もあるとてもいい男だったんですが、党の指令があつて、当時の大阪の吹田操車場＝国鉄の操車場なんですけど、そこで過激な活動をして、車両を傷つけたりした為に、警察から指名手配され、彼は地下に潜り込んでしまい、世話役／リーダーがいなくなってしまうました。そうなるやうに、メンバーから、河本リーダーをやってくれと言われました。私は皆から3年間遅れて大学はいったので、一番年上だった。それで、これはやらざるをえないと覚悟して引き受けました。私は、今では人の前で普通に話ができますけれども、昔は非常に内気で人前に出たら、ものが言えない、ヘドモドしちゃうタイプだったんですけども、心の通じた仲間ばかりなのだからと、この時に覚悟して、頑張ったお陰で、何とかリーダーらしく動けるようになりました。

私の性格としては、とても機関車となって皆を引っ張るという事はできそうにない。だけど、新幹線タイプのリーダーシップと言いますか、連結車両の中にある電動車両が、引っぱったり押したりする、そういうタイプのリーダーシップもある事に気づきました。暫くコーラス運営をやってるうちに、よし、これだと思ひました。コーラスで本当に初めてリーダーシップってどういうものかというのを体験した次第です。

その時居た15、6人のメンバーの多くは亡くなっていますけど、今も4人ぐらひは文通があります。そのうちの一人は今も一緒に仕事をしている、NPO法人コスモスの家＝デイ・ケアサービス＝を創った女性なんですけど、設立以来35年、私は理事をやったり監事をしたり、いろんな形でサポートして、今に至っています。

話を戻して、親父が昭和26年10月にケントクに私を引き入れてくれたのですが、そのケントクという会社は、京都山科にある一燈園の思想：無一物中無尽蔵とか、懺悔の生活とか、そういった思想を経営に反映させる会社＝灯影精舎＝だったんです。その思想に共鳴されたのが鈴木社長です。

ケントクでは、本社でも、工場でも、仕事を始める前に、必ず社員全員が礼堂（本尊は丸窓）に集まって、朝は維摩経を唱え、ケントク悲願を読みます。夕方は残業する者以外は礼堂に集まって、般若心経を唱え、ケントクの祈りを讀むんです。

ケントク悲願：

謙遜 賢明 剛健の徳を養い 仕事の第一は 人間をつくることでありますように。

働くことが楽しみであり 利益は喜びの取引から生まれますように。

商いを通じて人と仲良くなり 経済を以て世界平和のお役に立ちますように

50人ぐらいの会社だったんですが、そんな小さい会社が世界平和の役に立ちますようにと書いていました。夕方はケントクの祈りを讀みます。

ケントクの祈り：

はかなきは金銭 頼りなきは地位

人の思惑も苦しせず

ただひたむきに 懺悔の一路を歩み

己を捧げて 報恩の托鉢を致します

このケントクの社是を掲げたのが鈴木清市社長で、後にケントクがジョンソンと合併した時、自ら身を引かれ、皆さんご存知のダスキンを創始されました。鈴木さんはダスキン社の社長として、大阪南RCだったと思うんですが、ロータリークラブに入られています。

一燈園を創始された西田天香師は、終戦後初の参議院議員＝以前の貴族院議員＝選挙があったんです。その時に「1億総懺悔」というスローガンを掲げて全国区で出馬されたんです。私も京都へ行って、牛が引く荷車に乗って、一生懸命天香さんの宣伝をしたのを今でも覚えています。天香師は見事に当選されました。全国に天香師を慕う光友会のメンバーが頑張って当選されたんですね。

一燈園には光友会メンバーの研修会というのがあります。それに参加しますと、六万行願と路頭という修行が課されます。天香さんが修行の為、6万軒

のお宅の便所を掃除させて頂くという念願を立てられたので、六万行願というのです。日本手拭いを頭に巻いて＝天蓋と称しています＝バケツとササラだけを持って、京都市内に出向き、貴方はここからここまでのお家で修行させて貰いなさいと言われ、何のサポートもなしで、一軒・一軒訪ねるわけです。お訪ねすると、何か変な奴が来た、家に入れたら何をされるか分からないと疑って、なかなか入れてくれないんです。でもこっちは必死ですから、一燈園から修行の為に参りました、修行のためにやらせて下さいと、必死になって頼み込みます。お年寄りがおられる家は、そうですか、どうぞって入れてくれるんです。やれ嬉しやと便所を掃除していて、人気を感じてパッと見たら、お婆ちゃんが私に向かって手を合わせて拝んでんですよ、ドキッとしましたね。大きな人生上の体験です。



それと路頭というのは、ただ只管、時間と空間を超越して人の為に尽くしなさいと言う修行です。時計は外し、お金は一切持たず、京都市内のど真ん中に、班頭さんに引率されまして、何時に帰ってきなさいって言われたんです（10時～15時だったと記憶しています）。その間に、どんな事でもいいので、人のお役に立つ事をしなさいと言われました。私は市街を歩きながら、必死になって、人のお役に立てる、自分に出来る事はないか探しあぐねていました。そうしたら、運良くというか、たまたま家の前に、薪割りが途中で置いてあるのを発見、これだと思って、そのお家へ行き、（多分必死の顔をして居たと思う）、修行の為に薪割りをさせて下さいとお願いましたら、怪訝な顔をされていましたが、それならどうぞって、やらせて下さったんです。数十分でやり終わって、家人に知らせに行きましたら、一寸家に入ってくれと言われ、何ですかって？と入れて頂いたところ、すいとん＝小麦粉を練って、味付けをしたお汁で煮たもの＝を作ったから、食べて

いってくれと言われました。昭和22年でしたから、**食べ物は貴重品**でした。またすいとんは大変なご馳走でした。それを作ったから「**食べて行ってくれ**」と言われました。「**食べろ**」じゃなく。「**食べてくれ**」と言われるのは、私に対する感謝の印なんですね。もう本当に嬉しくて嬉しくて、美味しく頂きました。それでお礼を言って帰ろうと思ったら、申し訳ないけど、私の知り合いで同じように薪割りに困ってる方（女性で喫茶店経営）がいる（ご主人が未帰還兵）ので手伝って上げて欲しいんだがと頼まれました。私は嬉しくて、任せて下さいと意気込んでお訪ねし、薪割りをさせて貰った記憶が残っています。

僕以外の大方の人は、坂道の下にいて。荷車が坂を上がるのを後押しして助けたり、お寺や神社へ行って境内の掃除をする、そういう人が多かったんです。私みたいに個人的な体験をされた方は殆ど居なかったと思います。人の心ってこういう風に動くもんだ、それが自分自身の喜びになるというような事を実感させて貰いました。

天香さんは当選されたんですけども、政治の世界って簡単・単純なものではなく、「一億総懺悔」運動を浸透させる事は難しいと1期で引退されました。天香さんが詠まれた歌に、こういう歌があるんです。

なべて世の さわりの根をば

たずねゆきて 己が罪とぞ 帰りきし業

全てこの世の中にある障りは私のせいなんだ、と言う方なんですね。もう大変な事なんですけども、そういう考え方の思想の持ち主です（天香さんは経営者でしたが、何時も取引で争いが起こる事に悩み、解決の良い方法がないかと、何週間も断食修行をされ、悟られた事を表されたのがこの歌です）

ケントクの鈴木社長は天香さんの考え方を経営に適用させようと頑張っておられた方です。大変ユニークな発想の持ち主で、週刊重役制度とか青年重役制度と言う若い社員の経営参加を奨励する方式を創られたり、会社経営は完全公開で、毎月、一堂に全社員が集まって月次決算を公開するという考え方だった人です。

当時ケントクの給与体系が曖昧であったので、私が大学で学んだ賃金論から職能給制度というのを提案したら、それをそのまま鈴木社長が受け入れて実施させて貰った経験などから、大学を卒業してもケントクで頑張っておくという腹を決めました。市大を卒業出来たら、他のより良い会社に行こうと思えば行けたんですけど、それはやめました。昭和

30年、市大卒業の年、名古屋支店に経営の経験を増やすため転勤となりました。支店長の補佐みたいな形で支店経理だとか販売事務、商品の出荷、配達も含めて、責任者をやりました。



転勤1年くらいで、名古屋でもコーラスを立ち上げて、仲間を募り、歌っている時に私の亡くなった家内と知り合い、昭和32年10月、結婚しました。27歳でした。翌年、長男が生まれ、それで本社に戻ると昭和33年の10月に本社の経理部に戻りました。そしたら翌年、昭和34年（1959年）9月26日、皆さんご存知の伊勢湾台風が名古屋を襲い、名古屋地区が高潮に襲われ、私たちが住んでいた家は軒下まで水没したそうです。当時住んでいた方はタンスの上に避難、更なる増水に天井を破り、更に屋根を突き破って屋根の上で救助を待ったそうです。まことに私は幸運かなと思った次第です。

本社では資金調達を担当したんですが、当時は我々中小企業が製品販売する場合、問屋さんを通します。大手の問屋さんが多かったんで、製品を納めると支払は120日手形なんです。ところが、中小企業が原材料を買うのは90日手形で、30日の差があるわけなんです。当時、日本は高度成長期でしたので、毎年・毎年20%ぐらいバンバン売り上げが増えたものから。運転資金が足りなくなるのは当たり前なんですね。私が本社に戻って資金担当になった時は1行取引で、抵当権はその銀行が抑えていて、後は抵当物件は何もないわけです。もうこの1行取引では資金調達は不可能だ、何とかならないかと思えた末、よしケントクの強みを打ち出して、それを売り込んで金を貸してくれる銀行を探そうと考えました。それまでS銀行1行だったのを、うちの成長してるのを見て、興味示し、しょっちゅう訪問してくれていた、M銀行とD銀行にうちの製品の売れ行き情報や新製品計画、生産コストを下げるための最新設備の導入、更に祈りの経営というユニークな経営をやってるん

だ等々、懸命に話をしたところ、共鳴してくれて、担保無しに資金を貸し出して、何とか資金繰り上手くいくようになった頃、1962年にジョンソンが経営理念が良く似ているので同業の競合3社の中からケントクに業務提携を申し込んできました。ジョンソン社は同族会社ですが、その時すでに、全世界50カ国近くに子会社を持っていました。そしてジョンソン社は40%の持ち株を望んでいました。

鈴木さんは世界的な会社から、ご自分の経営理念を高く評価するジョンソンに共鳴したんですね。それなら経営権上、40%では心配でしょうからと、鈴木さんが自身の持ち株、友人の持ち株、社員の持ち株に全部委任状をつけてジョンソンさんに渡しますから、好きなように扱って下さい。100%提供してもいいと発言されました。ジョンソン社は驚いたのですが、そこまで言って貰えるのなら、過半数の60%を持たせて貰えませんかと言って来ました。鈴木さんは100%でもいいですよと言わビジネスよりも既にケントクの子会社で始めていた、ダストスキンを各家庭に納めるのダスキン・フランチャイズ・ビジネスに興味を持たれ、そちらの方に力を入れたかったんでしょうね。

提携後も社名はケントクで、鈴木社長はケントクの社長でしたが、1年程過ぎた時に、ジョンソン社代表として、ジョンソンが選んだ人物が、ジョンソンの自動車用ワックス日本代理店の幹部社員でした。彼はケントク社員と信頼関係を構築せず、労働争議が起こり、ました。鈴木さんは自ら責任を取る形で退社するが、皆さんはケントクに残りなさいと言われ、鈴木さんはケントクを離れ、少人数の社員のみを連れてダスキンビジネスを始められました。その後数年で、ダスキンフランチャイズビジネス以外のご存じのダスキンドーナツなど、急速に発展され今に至っております。

それではジョンソンの経営理念はThis We Believe=我々は確信する=という経営理念で表されてきました。

皆さんのお手元にお渡ししました、「決議23-34(抜粋)の一番下の方に「J社の経営理念」とあります：

社員：日本J社の活力の根源は社員にあることを確信する。

消費者：日本J社は消費者志向のマーケティングに徹し、長期にわたって消費者の信頼と支持を得るよう努める。

事業：日本J社の永続的な発展は、健全な事業活

動と社会的責任の遂行によってもたらされるものと信じる。

社会：日本J社はその諸活動を通じて社会の公益増進に寄与するように努める **国際社会：日本J社は各国関連企業との間に長年にわたってつちかわれた連帯精神を強め、世界各国との国際相互理解を深めるよう努める。**

ロータリーと同じような事言ってるんですね。大変幸せです。

その経営理念を現実に実行していたのが

1. **利益分配金制度**：税引前利益から会社の正味資産の10%を控除し、その25%を全社員の勤続年数と仕事の貢献度に応じて配分する制度。
2. **社会貢献寄附**：税引前利益の3%を控除し、社会貢献事業に投資する。



1962年にジョンソンと合弁し、どんどん会社が発展して、工場の生産能力をオーバーする状況になり、日本の何処か**新しい工場が必要**になりました。その時に、日本の人口の重心は何処にあり、れがどのように動いているかを調査したところ、1968年頃は人口の重心は岐阜県の郡上八幡にあり、毎年10キロずつ東に動いている。だから我々としては将来の事を考えると、静岡県、神奈川県に立地すべきだという事が結論で、それを探す責任者に僕が任命されたんです。僕はそれから3年間、適地を必死になって探してました。静岡県もずいぶん回りました。神奈川県の方では二宮町の方に一つ良い土地があったんですがやや狭く、また拡張の余地がない事から、さらに静岡と神奈川の適地を探しました。ある日、両県の候補地を何カ所も見て周り、それぞれ帯に短し襷に長しで、疲れたなと話をしてる時に、最後にこれはどうですか？と藤田工業子会社の藤和不動産の社員が連れてきてくれたのが以前ジョンソンのあつ

た場所でした。その時まで雨が降っていたんですが、その場所に着いた時にバートと晴れ、田圃の穂波がさやさやと揺れて、その場に居た全員が、これだ、これこそジョンソンの田圃工場に相応しい場所だと思ったんです。縁があったんですね！

当時、大磯にはナショナル金銭登録機。NCRがあったんです。このNCRは大磯町が招聘したんですね。それで、町の意向はジョンソンについては招聘しないけれども、邪魔もしませんと言ってくれていたんですね。それから農地買収交渉が始まり、以降、農業委員会で説明会をしたり、当時の大磯町に共産党員がいて、米帝国主義反対運動をしている人たちなので、何が何でもアメリカの会社ジョンソンの来るのを防ぐという運動を展開していました。農業用水路を許可無く取り壊したと喧伝＝会社は何も手を着けていなかった＝して訴訟をしたりしていましたので、その対応をしたりとか、いろいろやりました。

共産党は「ジョンソンが来たらボイラーを焚くから重油の煤でタンスの中が真っ黒になる」とか、「地下水をくみ上げるから地盤沈下して家が傾くぞ」と言い立てて、近隣住民に反対運動をするよう宣伝ビラを撒いたり、ポスターを貼ったりしていました。ジョンソンは一切公害を出さないのが基本方針ですので、どう対処したかという、ボイラーは灯油で焚きます。水は地下水ではなく、夜中に水道水を地下の貯水タンクに入れたものを使うので、日中皆さんの水道の出が悪くなることもありません。工場排水については最新技術で三段階で処理します。最終的に出てくる水を本社ビルの周りの池に入れます。そこで鯉を飼っている、その水を飲む魚が死ななければ水質は大丈夫でしょう。そんな事をして懸命に説得しました。そのうちに大磯町の人達が納得してくれるようになりました。

ジョンソンとしては、工場をいつも住民にオープンにするために、アメリカ本社から出向して来ているアメリカ人幹部の奥さん方が、工場内の一室を使って、大磯町の親子連れの英会話教室をやってくれました。親子で工場の中を見れるわけですね。その他に毎年、盆踊り大会をやり、映画会をやるなど、兎に角オープンで地域の人たちに喜ばれるような事を一生懸命やった会社です。そんな会社でしたので、私達社員は誇りを持って楽しく働いておりました。工場パートで働いていた大磯町の主婦は200人くらいおられました。

私は1972年3月、大阪からこちらに移動してきて

直ぐに、大磯クラブから入会の要請があった時、小山社長は横浜在住なのと、大変お忙しい方だったので、財務部長兼総務部長でした私が大磯ロータリーに入会しました。

小山さんは一度大磯クラブの卓話に来て頂いた事があります。



それから18年間大磯で勤務、私は1990年に60歳で定年退職をしました。その時は小山社長は既に定年退職されており、白内障治療の折りたたみ式の眼内レンズを開発して、日本で売り出したアラガンという会社の親会社の会長をされておりました。アラガン社の米国人の社長と約50人の日本人社員の間関係がうまく作れなくて困っているので、河本、お前行って手伝えと言われて、そこに行ったのが1991年からでした。社長顧問をやっているうちに、週1回が週2回なり、会計も見て欲しいという事になり遂に週4日、ロータリーに出席する木曜日以外は東京赤坂にあったアラガン社に通勤して色んな仕事をやっていました。

私が1996-97年度のガバナーに推挙された時に、ガバナーになれば会社に出勤は出来なくなるので、退職したいと申し出ました。ところが、辞めないでくれ、会社としてロータリークラブのガバナーを輩出したという事は非常に名誉な事だから辞めないでくれ、給料は今の通り出すから是非残って欲しいと言われました。すごい幸運でした。そんな事があって、ガバナーをやった後、2年間顧問兼経理（CFO）の仕事をし、その後、3年顧問兼監査役を務め、2002年にフリーになりました。

その後は大学のコーラスやケントク／ジョンソン、更にロータリーやアラガンで体験してきたノウハウを活かして、居住地域の自治会の会長を2年、その後、地区コミュニティセンターの副会長を6年、会長を4年やり、更に地区社会福祉協議会の会長を4年、

今は地区ボランティアセンターのセンター長をやっています。何故かしら皆んなから頼まれてやらせて貰っており、自分でなりたいと頼んでなった事はないんです。皆さんが推して下さってなれたという事は、私にとっては非常に幸運だったと思っています。これは若い時からケントクやロータリーとかで人のためになる事をしなさいという教育を受けた事が反映してるんだなと、つくづく思います。

現在の私の思いは：「私は終戦以降は非常に幸運だったなあ、これからも体力の続く間は頑張ってみよう」そういう思いをしているところでございます。

最後になりますが、皆さんにお配りした

「決議23-34 抜粋」にありますけど、この社会奉仕に関する1923年の声明は1923年の国際大会で採択されたものです。一番大事なところは、「ロータリーは基本的には一つの哲学であり、それは利己的な要求と義務、及びこれに伴う他人のために奉仕したいという感情との間に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は「超我の奉仕」 Service Above Self の哲学であり。これは「最もよく奉仕するもの、最も多く報われる」

「One Profits Most Who Serves Best」という実践的な倫理原則に基づくものである。

と言うところです。

この資料は新宅さんから提供を受けたのですが、現在はロータリーも変わりつつあって、この決議は歴史的な一つの文書として保存するけれども。表面上には出さない形の取り扱いになっています。でもこの基本的な考え方、私たちもやっぱり自分自身のやりたい事が沢山あるけれど、これをやらないといけないという思いも持つ。その辺りを乗り越えるために必要なのがロータリーの哲学でしょうか？ これは新宅さんからこの決議の話をしてくれよと言われていたので、申し上げました。

この原文は3ページぐらいあります。新宅さんがお持ちですので、何時か皆さんに配って頂ければ有り難いと思います。以上です。

15分もオーバーしまして申し訳ありません。本当に有り難うございました。（拍手）



点鐘：瀬戸亨一会長：河本さん卓話有り難うとうございました。私も子供の頃にジョンソンのお祭りに1回、映画を見に1回、年に2回行くのが楽しみでした。池の中で泳いでいた鯉もよく覚えています。あとダスキンさんを作った創設者さんも河本さんのお知り合いなんだとか、色々なお話を聞けて、大磯にジョンソンが出来た話しも分かりました。有り難うございました。

今でもいろんなところの相談役をされているという事で、それはしょうがないのかなと思いますけれども、これからも頑張ってください。点鐘します。